

区立施設の安全点検を実施

10月26日、災害時の拠点となる区立小中学校64校のすべてで、区職員による緊急の点検を実施し、ひび割れや傾斜などの問題がないことを確認しました。この点検は、区民の不安を取り除くことを目的としています。

10月23日の新聞報道で、横浜市の民間マンションが傾斜した問題に関連して、当該物件の杭打ち施工業者（旭化成建材）は、過去10年間に同社が手掛けた既成コンクリート杭工事（約3,000件）の都道府県別内訳を公表しました。都内は、延べ356件、そのうち、問題事案の担当者の関与物件は2件との内容でした。

この報道を受け、23日、杉並区では対策会議を招集し、過去10年間で横浜市の民間マンションと同様な工法を用いた杭打ち工事を行った区有施設7件（小中学校、図書館）について、施工事業者を調査しましたが、いずれも旭化成建材ではないことが確認できました。

また、旭化成建材が3,000件という多くの施工を行っていることから、区民の不安や心配を取り除くことが必要と判断し、本日、建築・営繕担当職員により、既成コンクリート杭工事を行った施設と併せてすべての区立小中学校の緊急点検を実施しました。区立小中学校は、災害時に地域住民の避難場所となり、震災救援所として防災拠点となるものです。このほかにも、区民センターや保育園、介護施設などについても、施設管理者による点検を行ってまいります。

小中学校の安全点検は、目視と聞き取りで行いましたが、ひび割れや傾斜などの問題がないことを確認しました。



【問い合わせ先】

危機管理室危機管理対策課 03-3312-2111 内線 1581
都市整備部都市計画課 03-3312-2111 内線 3501